
2010 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの：

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに.....	2
事業概要.....	3
活動紹介.....	5

はじめに

皆さまのご支援のお陰をもちまして、平成 22 年度は国際的な交流が進み、かつ今までの活動の積み上げが形となった年でもありました。

一つには、年度初めの 4 月に、当センターが実施しておりますアントレプレナーシップ教育プログラムの一つである「バーチャル・カンパニー」が国際機関 The International Partnership Network が主催する第10回国際産学連携会議(International Education Business Partnership Conference)にて、次世代の担い手職業開発部門 (Developing Skills of the Future Workforce 部門)の Global Best Awards 特別賞を受賞いたしました。12 年間継続してきた実践が国際的な評価を得ることができましたことを大変うれしく思っております。

また、昨年度は「バーチャル・カンパニー」の参加校の発表・交流の場として開催しております「トレードフェア」が 10 周年を迎え、記念行事として京都大学、国際機関 APO(アジア生産性機構)、本田財団などの団体と連携した 3 日間連続の国際シンポジウム Global Entrepreneurship Week 2010 Kyoto Session を開催し、より多くの方々にアントレプレナーシップ教育の重要性について理解を深めることができたと考えています。

6 月には 2004 年から参加しております高校生対象の国際競技「Global Enterprise Challenge」の世界大会にて、初めて日本の代表チームが 2 位に入賞し Most Creative Award を受賞しました。

他には、継続事業として神戸商工会議所での創業塾や仏教大学四条センターでの社会起業の基礎講座を実施したり、「老舗企業研究」を京都大学と共同で行うなどして、一定の成果を上げることができました。また、京都府や市町村の社会福祉協議会などと連携した「次世代の担い手育成事業」では福祉分野でのアントレプレナーシップ教育を小中学校のモデル授業で推進し、効果をあげています。新しい事業としては、障害者の就労支援に関わる職員へのマネジメント研修や訓練事業業務の改善支援を行い、障害福祉の業界でのイノベーションの必要性を強く実感しました。今後、教育分野と並行して当センターが取り組むべき重要な社会的課題領域と考えております。

事業課題としては、平成 21 年度に続き、経済状況の悪化もありイベントなどへの協賛や会員入会が伸び悩んだことがあげられます。今後、さらにアントレプレナーシップ教育への理解者を増やすための地道な努力を継続するとともに、より多くの団体との連携や協力のなかで、普及の仕組みづくりを行っていきたいと考えております。

皆さまには、アントレプレナーシップ溢れる社会の実現のために、新年度も引き続きご支援・ご指導賜れますよう何卒よろしく願いいたします。

平成23年4月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

事業概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の 範囲および人数
1. アントレプレナーシップ開発推進活動（自主事業）				
<イベント・講座開催などの普及活動>				
Global Enterprise Challenge 2010	【京都市国際交流協会助成対象事業】 青少年の科学技術の関心を高めるために 課題解決に挑戦する高校生対象の国際イ ベント実施	6/7(国内大 会) & 6/22-23 (国際大会)	国内大会:インター ネット開催/国際大 会:バリ(インドネシ ア)	約 100 名
Global Entrepreneurship Week 2010 Kyoto Session & トレードフェア 2010	企業経営教育プログラム「バーチャル・カンパニー」の参加校の発表や対面販売体験、実践事例紹介、企業人との交流会等を実施。	11/19-21	京都大学	約 800 名
<学校の学習活動支援>				
教員研修、学校への実践普及など	教員研修や授業支援や指導のコンサルティング	随時	センター又は各学校現場	約 2,000 名
<広報活動>				
メールマガジンの発行	センター活動の報告・案内	毎月	メール	毎回 約 5000 人
HP による広報	HP などに活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数
2. アントレプレナーシップ開発推進活動（他団体との連携事業）				
<講座開催・講座講師など>				
KCCI 創業塾	【神戸商工会議所委託事業】 起業家教育講座の企画・運営の受託業務	6 月～7 月	神戸市産業振興センター	約 50 名
講座企画開催「あなたのアイデアが社会で生きる」	【佛教大学四条センター委託事業】 特別企画講座として、社会起業についての基礎講座の提供	1 月～3 月	佛教大学四条センター	約 50 名
実践講座の講師	【京都府平成 22 年度「高校生新卒未就職者緊急支援事業」】	5 月～7 月	京都テルサ	約 40 名
<事業運営>				
福祉分野の仕事理解促進 & 次世代の担い手育成事業	【京都府平成 22 年度「きょうと介護・福祉ジョブネット」】 仕事理解促進WGのコーディネイトと「次世代の担い手育成事業」の企画・実施	4 月～3 月末	ハートピア京都・各実施学校にて	約 300 名
障害者就労支援自立プロジェクト『きょうとチャレンジドネット』	【京都府平成22年度NPO法人等の自立・自立プログラム支援事業】	6 月末～3 月末	京都府内にて	約 30 名
府立高校生の体験活動支援事業	【京都府教育委員会】 高校生の体験活動のための受け入れ企業開拓と派遣のためのコーディネイト	9 月～3 月末	受入企業にて	約 30 名
<研究>				

京都の老舗企業研究	【平成 22 年度経済産業省「産業技術人材育成支援事業(サービス工学人材分野)」 京都大学委託事業】 京都の老舗の事業継続の秘訣を研究・分析	10 月～3 月 末	京大・取材先企業 にて	約 20 名
3. その他講師・委員など				
講演など	大学などにて	随時	大学の講義室	約 300 名
公的機関の委員など	委員会への出席	随時	各主催者の会場	

1.アントレプレナー開発推進活動(自主事業)

<イベント・講座開催などの普及事業>

●Global Enterprise Challenge (グローバルエンタープライズチャレンジ)2010

本イベントは、当センターがスコットランドの行政機関であるキャリアスコットランド(Careers Scotland)との共催で、18歳以下の青少年対象に実施している活動です。日本で実施する国内予選と、各国の代表チームが競い合う国際大会とで構成されており、8名以下の高校生で編成されたチームが、1名の起業家のファシリテーターのサポートを受け、その場で出された課題解決に挑戦します。課題は、環境や福祉などの既存の社会的問題に関わるもので、参加者は、科学技術などの知識を活用して解決策を事業プランとしてまとめて発表。提案内容は、審査員により、創造性・革新性・実現性・市場性・コミュニケーション能力などの点を総合的に評価され、優秀チームが決定されます。2010年の国内予選には、10チームが参加。国際大会には14カ国が参加し、日本チームは2位のCreative Awardを受賞しました。

スケジュール

【国内予選】3月29日(月)―31日(水)インターネット開催

<課題(challenge)>

To produce a working model of an innovative product, service or system that will create jobs or enhance employment of a mentally or physically handicapped person. Please study the present issues of the welfare system and provide a new approach of solving the problems. It should be a sustainable, effective and practical means to solve the essential problems. (障害者雇用を促進する革新的方法を提案せよ)

◎最優秀賞

・同志社国際高等学校 3年 チーム

【提案内容】個別に求職者のスキルや希望を聞き、能力を伸ばせる就業先の紹介や起業支援を行う非営利組織を設立。企業に障害者雇用をしやすい環境整備のコンサルを行ったり、成功した起業家が人を雇用しまた組織を支援したりする事業。



◎努力賞

・京都伏見工業高等学科 2年チームA

【提案内容】肢体不自由者向けの農具

・京都市立伏見工業高等学科 1年チームB

【提案内容】仕事支援のハード・ソフトウェア

・神戸市立葺合高等学校国際科 2年チーム

【提案内容】障害者向け能力測定テストと雇用訓練プログラム

【国際大会】6月14日(月)―15日(火)インドネシア バリ

場 所: Pullman Bali Legian Nirwana Resort (インドネシア、バリ)

ホスト: Surya Institute, United in Diversity Forum

参加国: 以下 14 カ国が参加。5 チームがインドネシア(バリ)にて現地参加し、5 チームが EuroHUBU のドイツ(マインツ)に集合し、残り 4 チームがネットで参加。

<バリ>インドネシア、ウェールズ、シンガポール、日本、フィリピン

<Euro-HUB>ドイツ、ノルウェー、ポーランド、スコットランド、南アフリカ

<ネット参加>オーストラリア、ニュージーランド、韓国、アメリカ



<課題(challenge)>

“To produce a working model of an innovative game for a family of four (2 adults + 2 children aged 8-12) that addresses the issues and challenges facing the world in 2030.”(2030年の世界が直面している課題に取り組む家族(大人二人と8歳～12歳の子供二人)むけの革新的ゲームの試作モデルを開発すること。)

◎入賞チーム

1位:オーストラリア 2位:日本 3位:ウェールズ



●Global Enterprise Challenge (グローバルエンタープライズチャレンジ) 2011

Global Enterprise Challenge 2011 の国内予選を3月末に実施いたしました。今年は、東北大地震の影響で、参加予定の学校の中から数校キャンセルがでましたが、最終的に11チームの高校生が挑戦し、以下の結果となりました。今後5月のアジア開会にて1チームを選抜し、6月18・19日の世界大会に参加します。

<課題> The challenge for GEC 2011 Japan National Competition is “to produce a working model of an innovative product or service that will reduce damage and loss of people’s lives when a country is hit by a natural disaster and is short of basic necessities, such as electricity, fuel, water, food and transportation, etc.

<国内予選入賞チーム>

○最優秀賞

・『Us Communications-Disaster Airborne Radio-wave Transmitter』(同志社国際高等学校 C チーム)

・『Water SPArk』(京都市立伏見工業高等学校 A チーム)

○優秀賞

・『Lightspeed Save Ring』(京都市伏見工業高等学校 B チーム)

●バーチャル・カンパニートレードフェア 10周年記念事業 Global Entrepreneurship Week 2010 Kyoto Session



『バーチャル・カンパニートレードフェア』は、“自ら仕事を創造できるアントレプレナーシップ(起業家精神)溢れる若者”の育成を目的に実施してきた仮想企業経営の実践見本市です。お陰さまで今年10回目を迎え、その記念事業として、京都大学経営管理大学院と国際機関 APO(アジア生産性機構)との共催で、イノベーションをもたらすアントレプレナーシップをさらに推進するイニシアティブ運動として、11月19日～21日まで、三日間連続の『Global Entrepreneurship Week 2010 Kyoto Session』を開催いたしました。

初日の19日は「アジアンアントレプレナーシップ@KYOTO」と題してシンポジウムとパネルディスカッションを開催。京都は、長年続く老舗企業と伝統技術を生かして新しい事業を創造しグローバル企業に成長している戦後のベンチャー企業とが混在する町。そんな特性を知った上で、300年以上続く老舗企業と日本を代表する新興ITベンチャー企業からイノベーションが生まれる経営工夫を探りました。その後、アジアを代表する起業家3名に各国での起業状況や支援体制について紹介してもらおうと同時に、事業成功の秘訣について議論し、最後に若者のアントレプレナーシップ教育の効果と必要性についての理解を深めて第一日目のセッションを締めくくりました。2日目は日本の学生と国際機関 APO の招聘したアジア諸国14カ国からの起業家でチームを組み、新規事業提案としてまとめる「イノベーションワークショップ」を行いました。参加者達は友好を深めながら楽しく意見交換し、短時間で内容の濃い事業アイデアをまとめていました。3日目の21日には「第10回バーチャル・カンパニートレードフェア」を開催。例年どおり全国各地から小学校から大学までが集い、今年は18団体、35チームが日頃の学習成果を展示販売とプレゼンテーションを通じて互いに競い合いました。

Asian Entrepreneurship @Kyoto

日時:2010年11月19日(日)

会場:京都大学医学部創立百周年記念施設 芝欄会館2F 山内ホール

プログラム:

10:00-10:30 開会スピーチ

「アントレプレナーシップ Kyoto Style」

小林 潔司 (京都大学経営管理大学院 院長)



10:30-12:00 基調講演

「伝統と革新～繰り返される未来への挑戦～」

林 泰彦 (福田金属箔粉工業株式会社 取締役社長)



13:00-14:15 講演

「イノベーションを生む次世代の組織づくり」

曾山 哲人 (株式会社サイバーエージェント 取締役人事本部長)



14:15-16:15 パネルディスカッション

「アジアンアントレプレナーシップ」

モデレーター: 曳野 孝 (京都大学経営管理大学院 准教授)

パネリスト: 川分 陽二 (フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長)

パネリスト: サンチャイ パイジット (フレクソリサーチグループ 代表取締役社長)

パネリスト: リウ フェイジエン (ニュー・ディーンテクノロジクス 社長)

16:15-17:00 パネルディスカッション

「ユースアントレプレナーシップ」原田紀久子 (アントレプレナーシップ開発センター 理事長)



Innovation Workshop

日時:2010年11月20日(土)

会場:京都大学総合研究2号館 1F&3F

内容:学生(大学生・大学院生)とアジアからの起業家が各3~4名でチームを編成し、当日出された課題(チャレンジ)の解決と一緒に挑み、事業提案としてまとめ、発表。審査員は事業アイデアの革新性・実現性・市場性などで評価し、優れたアイデアを出したチームを**Most Innovative Team**として表彰しました。参加者からは高い評価を得たワークショップとなりました。

プログラム:

- 09:00- 開会
- 10:15- グループワーク
- 15:00- プレゼンテーション
- 16:45- **Most Innovative Team** の発表と賞品の授与式



<課題>

Challenge is to plan a new business that will create jobs in more than two countries in Asia. That business must meet the following criteria.

- Solve or help to solve the existent social problems in those target countries
- Beneficial for all countries involved
- Well received in the community
- Sustainable and practical

<結果>

Most Innovative Team 賞は農村で仕事を創り、都心で稼ぐ女性が家族と離れて暮らす状況を改善しようとする食品販売のチェーン店の提案をした以下の3人のチームに。また、副賞として、Global Entrepreneurship Weekの日本ホストの財団法人本田財団より漆器製品が贈られました。

<Most Innovative Team 賞 受賞者>

Mr. Ryouichi Kusama、Mechanical Engineering Science, Kyoto University Graduate School of Engineering, Japan

Mr. Prakrama Nihal Perera、Managing Director, Sparklink Travels Pvt Ltd, Sri Lanka

Ms. Norlia Yusof, Managing Director, Hajjah Aminah Food Industries Sdn Bhd, Malaysia



<審査員>

- ・ 川分 陽二 (フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長)
- ・ 久保田 善明 (京都大学経営管理大学院 准教授)
- ・ 小林 俊哉 (財団法人本田財団 事務局長)
- ・ 原 良憲 (京都大学経営管理大学院 教授)
- ・ 原田 紀久子 (特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)
- ・ ルー シャーマン(国際機関 (APO) (アジア生産性機構) 上席調査企画官)

Virtual Company Trade Fair

日時:2010年11月21日(日)

会場:京都大学百周年時計台記念館 2F 国際交流ホール

プログラム:

10:00-10:15 トレードフェア開会式

来賓挨拶:京都府知事 山田 啓二

主催者挨拶:トレードフェア実行委員長 市原 達朗



10:15-14:15 ブース展示・販売



10:15-14:15 プレゼンテーション



14:30-15:00 10周年祝辞講演

堀場雅夫(株式会社堀場製作所 最高顧問)



15:00-16:15 参加者の交流セッション

16:15-17:00 表彰式



<審査員リスト>

小・中・高校の部 (展示・プレゼン)

梅原 豊 京都府府民生活部 府民力推進課 課長

河原 和之 東大阪市立縄手中学校 教諭

田中 元子 有限会社さかの館 代表取締役

井内 勝 株式会社アシストバール 取締役 最高執行責任者

森本 富美子 株式会社ママ・サービス 取締役会長

大学の部（展示）

市原 達郎 トレードフェア実行委員長／（特）アントレプレナーシップ開発センター副理事長
 太田 航平 特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事
 小林 俊哉 財団法人本田財団 事務局長
 首藤 晴美 アッシュウエイブ株式会社 代表取締役社長
 土井 善子 京都中小企業家同友会 副代表理事／有限会社思風都 代表取締役会長

大学の部（プレゼン）

松田 直子 株式会社 Hibana 代表取締役
 小央 絵理 株式会社ジェイティーエス 代表取締役
 圓山 建造 社団法人京都経済同友会 事務局次長
 村山 芳登 京都ジョブパーク センター長
 河野 登夫 河野特許事務所 所長

<受賞者リスト>

特別部門	会社名	学校名	商品提供企業
知事賞 *社会貢献度が最も高かったチーム	N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)	尾道市立原田中学校	京都府
京都商工会議所賞 *ビジネスモデル(サービス)に新規性や独自性の高かったチーム	MANAB E(マナビー)	目白大学	京都商工会議所 (賞品提供:小丸屋)
京都工業会賞 *科学技術の分野(製品:ものづくり)において新しい発想があったチーム	株式会社ナルトビハウス	近畿大学	社団法人京都工業会 (商品提供:青少年と科学の会)
京都経済同友会賞 *地域コミュニティーに貢献度の高いチーム	桑茶工房(くわちやこうぼう)	共愛学園前橋国際大学	京都経済同友会 (商品提供:日東薬品工業株式会社)
小・中・高の部	会社名	学校名	商品提供企業
最優秀賞	模擬会社レザン	塩尻志学館高等学校	株式会社井筒八ツ橋本舗
優秀賞	輝キッ津(かがやきっず)	津市立藤水小学校	株式会社日本サルベージサービス
優秀賞	紫友会(しゅうかい)エコ商品開発課	京都教育大学付属京都小・中学校	有限会社アミークス
専門学校・高専・大学の部	会社名	学校名	商品提供企業
最優秀賞	花豆小町(はなまめこまち)	共愛学園前橋国際大学	株式会社永楽屋・株式会社福寿園
優秀賞	Flower(ふらわー)	同 社女子大学	株式会 如月社
その他(参加者が選ぶ賞)	会社名	学校名	商品提供企業
スチューデント賞 *生徒が選んだチーム	和菓子屋 紅葉(こうよう)	京都市立養正小学校	株式会社アシストバルール
ベストショップ賞 *一般来場者が選んだチーム	一身田カンパニー	津市立一身田中学校	オムロンヘルスケア株式会社

<受賞チームの商品の一部>



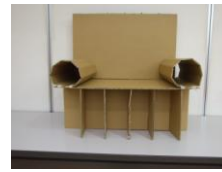
『NRC』のエコセット



『ナルトビハウス』のエイの酢豚



『輝キッ津』のコスター



『紫友会』の椅子



『花豆小町』の花豆の甘露煮

<受賞チームの電子商取引サイトの一部>



『MANABEE』



『桑茶工房』



『FLOWER』



『レザン』

<10周年記念 感謝状授与者>

トレードフェアの開催において、長年ご支援いただいた企業の方、参加校の指導者の方、そしてボランティアスタッフの方々に10年間事務局を運営してきました特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センターの理事長の原田より、感謝状と副賞を授与させていただきました。

学校	団体名	個人
近畿大学 経営学部 教授 文能 照之	株式会社大貴	堀場 雅夫
目白大学 社会学部 メディア表現学科 教授 原 克彦	株式会社井筒ハツ橋本舗	宮脇 裕
同志社女子大学学芸学部 情報メディア学科 准教授 関口 英里	株式会社堀場製作所	青山 和典
共愛学園前橋国際大学 国際社会学部 国際社会学科 教授 兼本 雅章	オムロンヘルスケア株式会社	小 章一
追手門学院大学 経済学部 経済学科 教授 箱田 昌平	株式会社島津製作所	武 照美
京都市立修学院中学校	株式会社エフタイム	
京都教育大学附属京都小中学校	株式会社ジェイ・エス・エル	
	株式会社東京証券取引所グループ	
	株式会社福寿園	
	有限会社アミークス	

Global Entrepreneurship Week 2010 閉会式と交流会

ホスト:財団法人本田財団

日時:2010年11月21日(日) 17:00-

会場:京都大学 カフェレストラン カンフォーラ

プログラム:

主催者挨拶:原田 洋一 (財団法人本田財団 常務理事)

乾 杯:トレードフェア 入賞校 代表生徒

交 流 会:気軽に食事しながら交流を行ってください

閉 挨拶:原田紀久子 (NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)

三日間の Global Entrepreneurship Week Kyoto Session に参加されて皆さんの交流の場を設けました。アジアの起業家の視察団の方々からは歌の披露があるなど、良い会となりました。



本田財団 常務理事 原田洋一氏



歓談する参加者達



歌を披露する起業家の視察団

●松本市教育委員会教員研修

松本市では青少年課勤労青少年ホームが主体となってキャリア教育を推進し、当センターの Web 教材「キッズアントレ」を活用。夏休みに指導者研修を実施し、本年度は小学校 4 校、中学校 2 校のモデル校で 14 クラス、約 500 人以上が参加しました。

開催日時:平成 22 年 8 月 9 日:松本市立田川小学校・山辺中学校・高綱中学校

平成 22 年 8 月 10 日:松本市立大野川小学校・鎌田小学校・中山小学校

2.アントレプレナー開発推進活動(他団体との連携事業)

<研修・講座開催>

●神戸商工会議所「KCCI創業塾(第12期)～起業家カレッジ」

開催期間:平成22年6月19日(土)～平成22年7月24日(土)[全6回]

場所:神戸市産業振興センター

神戸商工会議所の創業塾にて「会社を作ろう!」の講座を実施。会社運営に必要な基礎知識を学びながら、グループに分かれて新規ビジネスを提案。参加型講座で、受講生の方々もネットワークを広げ、その後の仕事につなげておられます。

1	<p>6/19(土)10:10～17:30</p> <p>●会社を作ろう! (1)～起業するために一番重要なことは?～ NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター理事長 原田紀久子氏、 中小企業診断士 宇田名保美氏</p> <p>○開講記念 講演「ゼロからの創業～資金もない、人脈もない、営業のやり方も知らなかった私がどうやって顧客を獲得したか～」 株式会社ユーシステム代表取締役 佐伯 里香氏</p> <p>○参加者交流会</p>
2	<p>6/26(土)9:30～16:00</p> <p>○会社法について～会社で起業?個人で起業?創業直後に陥りやすいトラブルとは～</p> <p>○財団法人神戸市産業振興財団および神戸 商工会議所の支援メニューについて</p> <p>●会社を作ろう! (2)～ビジネスアイデアを具体化する～</p>
3	<p>7/3(土)9:30～16:00</p> <p>○税務・経理面からみた商いの基礎</p> <p>●会社を作ろう! (3)～ビジネスプランの立案～</p>
4	<p>7/10(土)9:30～16:00</p> <p>○人を雇用する時の基本ルールについて 社会保険労務士 中川秀和氏</p> <p>○マーケティングとセグメンテーション 甲南大学経営学部教授 西村順二氏</p> <p>●会社を作ろう! (4)～グループビジネスプランのブラッシュアップ作業～</p>
5	<p>7/17(土)9:30～16:00</p> <p>○新規開業のための融資制度</p> <p>○創業者のための 知的財産に関する知識</p> <p>●会社を作ろう! (5)～広報資料の作成～</p>
6	<p>7/24(土)9:30～17:15</p> <p>●会社を作ろう! (5)～企画書のブラッシュアップ作業&発表会～</p> <p>○パネルディスカッション「夢に向かって～先輩に学ぶ～」</p> <p>○参加者交流会</p>

●仏教大学四条センター 秋期講座

「あなたのアイデアが社会で生きる」 新しい自分の可能性に～最初の一步～

社会貢献事業に携わりたい方対象に、入門・基礎講座として、市民活動への参加方法、NPO法人などの設立に関わるお話や、社会起業家の実体験や彼らが社会に与える影響などをシリーズで紹介。多様な分野での社会貢献活動への参画を後押しする「きっかけ」づくりを目的に講座を開催しました。

2010年10月5日(火) 10:30-12:00 「あなたの思いを形に」

講師名(肩書) 原田 紀久子 (NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)

<講座内容>シリーズ講義の最初の1回目として、夢にチャレンジしている人達のお話を聞く前に、自分がなんとなく考えていたことを一緒に形にしていきます。自分の興味や特技を再確認し、身近なところから始めるプランニング。

2010年10月19日(火) 10:30-12:00 「自分らしいライフスタイルで」

講師名(肩書) 石田 光江 (丸手印靴工房 代表)

<講座内容>自分流の価値観や生活スタイルを大切にしながら、地道に自分のやりたいことを形にしてこられた石田氏。講座では我が道を行く強さの源泉、仕事をしながら子育てを楽しむコツ、他人を巻き込む術や今後の夢などについてお話いただきました。

2010年11月2日(火) 10:30-12:00 「新しい自分との出会い～人の笑顔を創るしごと」

講師名(肩書) 澤田 有紀 (弁護士法人みお 代表)

<講座内容>文学部出身で法律とは無縁の「専業主婦」から、阪神大震災を契機に一念発起し合格率3%の司法試験に「1回」で合格された澤田氏。弁護士になろうと思われたきっかけや、合格に向けての勉強法、弁護士事務所の経営者としてのご苦労や醍醐味についてお話いただきました。

2010年11月16日(火) 10:30-12:00 「一仕事終えた後に、また一步:すべてがにつながる喜び」

講師名(肩書) 丹羽 國子 (一般財団法人まちの縁側クニハウス&まちの学び舎ハルハウス代表)

<講座内容>未熟児で生まれて30歳まで生きられないと医師に宣告された丹羽氏。病気を克服して看護師と社会福祉の学びを両立され、退職後は「自分たちのまちは自分たちでつくる」を念頭に、住み慣れた町で互いに助け合える場所づくりを実践されています。地域に根付いた活動から自分達が身近にできることを考えました。

2010年12月7日(火) 10:30-12:00 「チャレンジは楽しい！」

講師名(肩書) 原田 紀久子 (NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)

<講座内容>最後の講義として、それぞれの思いの成功ゴールをイメージし、自分で一步踏み出した後に予測される問題や障害への対応方法を一緒にシュミレーションしました。

●京都府平成 22 年度「きょうと介護・福祉ジョブネット」仕事理解促進事業

次世代の介護・福祉人材の育成を目標に、福祉の仕事への興味・関心を促進するため、小・中学校の「総合的な学習の時間」などを活用し、学校教育の中で福祉の仕事についての理解を深めるモデル事業を府内の小・中学校 5 校で実施しました。事業としては、推進体制の構築など課題はありますが、参加した生徒や関係者からの評価が高く、実際に生徒の福祉の仕事への興味が向上していることが伺え、一定の教育効果を得ることができています。

★合同発表会

日 時:2011 年 3 月 13 日(日)13:00～16:00

会 場:京都テルサ 3 階 第 1 会議室(京都市南区東九条下殿田町 70)

対 象:学校関係者(教員、教育委員会)、介護・福祉サービス事業所の職員、市町村社会福祉協議会担当者、及び行政関係者等

プログラム:

13:00-開会挨拶

辻 道人氏(きょうと介護・福祉ジョブネット 仕事理解促進ワーキング 座長)

13:05-第一部:実践校の発表

- ・ 京都市立養正小学校 (代表生徒 3 名と指導教諭の福間大輔氏)
- ・ 宇治市立北宇治中学校(代表生徒 9 名)
- ・ 与謝野町立加悦中学校 (代表生徒 2 名)
- ・ 平安女学院中学校 (指導教諭 渡邊聡子氏)
- ・ 宇治田原町立田原小学校 (教頭 藤澤真一氏)



14:20-第二部:パネルディスカッション

「次世代の担い手を地域で育てるために～学校と福祉機関との連携から見てきたこと～」

<パネリスト>

藤村 徹氏(京都市立養正小学校 校長)

塩見 智歳氏(宇治田原町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター)

諏訪 基久氏(高齢者福祉総合施設 バプテスト・ホーム 施設長)

山岡 佳永子氏(就労支援センターとも サービス管理責任者)

<コーディネーター>

原田 紀久子氏 (アントレプレナーシップ開発センター 理事長)



●平成 22 年度京都府 NPO 法人等の自主・自立プログラム支援事業
「障害者就労支援自立プロジェクト『きょうとチャレンジドネット』」事業

本事業では、福祉サービスに、民間のマネジメントの考え方を取り入れることで、障害者のスキルを向上させる仕事づくりと同時に顧客のニーズにこたえる商品開発と販路開拓を実現することを目的に、当NPO法人の起業支援や人材育成のノウハウ、産学連携のネットワークを活用して、以下のことを実施しました。

①施設長・職員向けの講座の開催

対 象 者:障害者の就労支援サービスを提供する府内のNPO法人等の職員や経営者
 内 容:京都府社会福祉協議会等と連携して、府内で「～プロのスキルを習得しよう！～商品力&販売力のブラッシュアップ講座」を開催。経営資源獲得の戦略的思考訓練とモデル事例からノウハウ取得、個別の課題解決プラン立案と専門家による指導

②事業所と大学との連携プロジェクト

対 象 者:障害者の就労支援サービスを提供する府内のNPO法人等 6 事業所と同志社女子大学情報メディア学科の e-commerce を選択している学生 48 名
 実施方法:人的資源が不足しがちなNPO法人などの施設に対して、特に広報ツールの開発に興味やスキルのある大学生が、チームに分かれ個別の施設とタイアップ。施設のニーズを聞いたうえで、課題解決型のプロジェクトとして取り組んだ。

③商品紹介&販売のHPサイト設立

やる気のある障害者就労支援事業所の販売している製品やサービスをまとめて紹介し、カテゴリー別に分類。企業などから発注できるポータルサイト「Innovation Studio」を開設。今後、事業所と企業との橋渡しを行い、事業所の商品が市場で通用するものにレベルアップさせるとともに、企業での販路を開拓していく。

「～プロのスキルを習得しよう！～商品力&販売力のブラッシュアップ」講座

導入講座	
第 1 回:事業課題要因の洗い出しと解決策の具体的プランニング	
京都市・南丹地区:9/1(水)15:00～17:00 丹後・中丹地区:9/8(水)15:00-17:00	
講師名(肩書)	原田 紀久子(NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)
<講座内容> 事業所の課題とその要因について改めて見直し、解決策と計画の実行において予測される問題の対処方法について検討。	
第 2 回:商品力確保と販路拡大のための第一歩	
京都市・南丹地区:9/9(木)18:00～21:00 丹後・中丹地区: 9/16(木)14:00-17:00	
講師名(肩書)	三木 久夫(株式会社フェリシモ CCPプロジェクトリーダー)
<講座内容> アーティストや製造メーカーとの共同作業でオリジナル商品をつくりあげ通信販売を実現している(株)フェリシモのチャレンジドクリエイティブプロジェクト(CCP)の仕組みや、成功する商品開発や売り方・考え方について事例を交えて紹介。	
Option:個別相談会	
10/6(水)15:00～17:00 京都府庁NPOパートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	三木 久夫(株式会社フェリシモ CCPプロジェクトリーダー)
<講座内容> 商品は、出来た商品を売る品物ありきの考え方、同業者間だけのアイデアから脱し、市場に無い本物志向の商品開発の必要性を丁寧に説明された。次に、受講生の企画した商品について、それぞれアドバイスして	

いただいた。	
実践講座	
第1回：『あなたのお客は誰ですか？』	
9/29(水) 18:30～20:30 京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	原田 紀久子(NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)
<講座内容> ターゲット顧客の嗜好や生活スタイルについて再確認し、商品開発・広報・販売方法を振り返り、事例をまじえながら今後の戦略を考えました。	
Option：『原価計算の仕組みを理解し、損益分岐点を見極めよう』	
10/13(水) 18:30～20:30 京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	上西 祥之(上西祥之会計事務所 所長・税理士・社会保険労務士・行政書士)
<講座内容> 原価計算の基本的な仕組みを理解し、市場で決まる商品価格との関係を学び、事業の採算が合うか否かのポイントとなる「損益分岐点」の求め方について実践。	
第3回：『あなたの提供する価値とは？』	
10/27(水) 18:30～20:30 ハートピア京都 (京都府立総合社会福祉会館)4階 第四会議室	
講師名(肩書)	安倍 泰生 (安倍クオリティーマネジメント株式会社 代表取締役)
<講座内容> 販売する製品やサービスが、顧客にどのような価値を提供しているのか。中長期的に収益を確保するための価値創造と価格設定について検討。	
第4回：『顧客の心をつかむメッセージ』	
11/24(水) 18:30～20:30 京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	加藤 太一 (NPO 法人せいらん福祉会理事、就労継続支援事業所 ワークハウスせいらん 施設長)
<講座内容> 品質の良さだけでは商品は売れません。顧客を理解し、売上につながるアプローチ方法について学びました。	
第5回：『あなたの提供する価値とは』	
12/15(水) 18:30～20:30 京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	安倍 泰生 (安倍クオリティーマネジメント株式会社 代表取締役)
<講座内容> 大口の顧客に対して商品を売るための工夫や相手の心をつかむ話し方、会った後のフォローなどについて学びました。	
第6回：『こんな一工夫でこんな効果が！』	
1/26(水) 18:30～20:30 京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室	
講師名(肩書)	吉野 智和 (NPO 法人エクスクラメーションスタイル 統括マネージャー)
<講座内容> 助成金などをうまく活用したり、企業とのコラボで商品開発や販路確保に成功した事例を交え、事業所の収益確保についての多様な切り口について学びました。	
Option：『HP 作成説明会』	
2/14(月)13:00-15:00 リコージャパン株式会社 関西営業本部 京滋支社ビル 5 階会議室	
講師名(肩書)	原田 紀久子(NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)
<講座内容> 障害者就労支援事業所と仕事の発注者との橋渡しをするポータルサイト「Innovation Studio」の説明と、メンバースタジオとして参加希望の事業所の皆さんに個別のサイト作成についての説明。	



課題解決に向けての大学との連携事業の推進

障害者の就労支援サービスを提供する府内のNPO法人等の6団体が参加し、同志社女子大学情報メディア学科と連携し、E-Commerce 専攻の 48 名が連携事業に取り組みました。職員の方の説明から事業所の課題を抽出し、その中で、パッケージデザイン・商品開発・広報支援など学生達が参画できる課題解決に挑戦し、具体的な成果物を 11 月 21 日に京都大学で開催されたトレードフェアで出展。プレゼンや販売を実施しました。その後、1 月 12 日に成果報告会を事業所向けに開催して、成果や課題について話し合い、次年度に向けより良いプログラムにするために情報を互いに共有しました。

本取り組みの成果としては、新しい商品開発ができたことや開発商品が同志社女子大学の生協での販売が決まるなどといった目に見えるもの以外に、大学生にとって障害者の存在が身近になり障害者就労や福祉サービス員という職業についての理解が促進したことがあげられます。また、事業所の職員が大学生と一緒に商品開発することにより、福祉業界についてまったく知らない素人にわかりやすく自らの課題やその要因を明確にし、指導していくことを通じて、指導員としての能力開発に役だったという意見もありました。そして、両者ともに、商品が市場に出るまでの大変なプロセスから、新しい気づきがあったことが伺えます。しかし、情報共有や学生がさける時間の問題など、まだまだ課題は多く、目的としている成果がでるまでには時間がかかることから、長期的に取り組むことが必要な実践でもあります。

<参加施設>

- ・社会福祉法人てりてりかんぱにい 就労継続支援B型事業所ジョイント・ほっと 喫茶ジョイントほっと
- ・社会福祉法人修光学園 修光学園
- ・社会福祉法人修光学園 HOLYLAND
- ・社会福祉法人京都ライトハウス 就労移行支援・就労継続支援(B型)事業所 FSトモニー
- ・特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター 障害者就労支援センター ほっとはあと
- ・京都市伏見障害者授産所



商品紹介&販売のポータルサイト Innovation Studio について

本事業では、より良い商品開発と販路拡大にて障害者の工賃アップや能力開発を図りたいという事業所と発注者(企業など)とを結ぶための出会いの場として、ポータルサイト『Innovation Studio』を開設しました。ここでは、小規模の事業所では受注できないような大口の注文に対して、複数の事業所で手分けして対応することで、顧客ニーズにあった商品を提供し、同時に各事業所のスキルアップを図っていただくことを目的としています。今度、1ヵ所では製作が難しい注文数の場合でも、同業の複数の事業所と共同で製作するよう体制作りを支援する予定です。

○ポータルサイト(一部工事中)



○各事業所のホームページ サンプル



●京都府職業教育充実事業「府立高校生の体験活動」

昨年に引き続き、当センターで、高校生の体験活動に協力してくれる企業のコーディネイトを行いました。多くの方のご理解とご協力のもとに3団体2種類の体験活動に約14名の高校生が参加することができました。

【活動内容】

- 1) インターンシップ(3日間): 企業現場で実際に簡単な仕事に従事する
- 2) ジョブシャドウイング(1日間): 社員と一日行動を共にする
- 3) 企業訪問(半日間): グループで企業を訪問し、社員から話を聞いたり、施設見学を行う

【受け入れ企業】

- ・ 佛教大学
- ・ 株式会社堀場製作所
- ・ 株式会社カスタネット



社長の話(カスタネット)



会社の概要説明(堀場製作所)

<研究>

●京都大学平成22年度経済産業省「産業技術人材育成支援事業(サービス工学人材分野)」 京都の老舗企業研究事業

2年目となる今年度事業では、「株式会社井筒八ツ橋本舗」「吉忠株式会社」「株式会社イノブン」「株式会社写真化学」の4社にご協力いただき、京都大学経営管理大学院の学生とともに現場訪問や経営者へのヒアリングなどから事例研究を実施し学生のケース教材作成を指導・編集ととりまとめを行いました。それに並行して研究会を開催し、老舗企業の経営者や研究者を講師に招き、関係者間で事業継続の秘訣について研究を深め、同時に研究会を一般公開して広く課題やそのノウハウを共有する機会を設けました。

スケジュール

4月～6月:企業選定と担当大学院生の決定

7月～10月:取材調査と企業研究

7月～8月:老舗企業調査アンケート作成

10月～1月末:事業継続の成功要因分析、調査企業2社のケース作成

第1回老舗企業研究会:株式会社井筒八ツ橋本舗

講師:株式会社井筒八ツ橋本舗 代表取締役社長 津田 純一 様

日時:平成22年10月8日(金)16:00～18:00

場所:京都大学百周年時計台記念館 会議室Ⅲ

参加者:25名



第2回老舗企業研究会:吉忠株式会社

講師:吉忠株式会社 代表取締役社長 吉田 忠嗣 様

日時:平成22年12月2日(木)16:30～18:30

場所:京都大学吉田キャンパス総合研究2号館 ケーススタディ演習室

参加者:17名



第3回老舗企業研究会:京都の職人文化と伝統産業の存続

講師:同志社大学大学院ビジネス研究科長/教授 村山 裕三 様

日時:平成22年12月17日(金)16:30～18:30

場所:京都大学 総合研究2号館 地下1階 大演習室3

参加者:15名



モデル企業研究の報告会

日時:平成23年1月22日(金)16:30～18:30

場所:京都大学 総合研究2号館 3F

事例研究対象として「株式会社イノブン」と「株式会社写真化学」ケースの報告会を実施し、内容についての確認や議論を行いました。



3. 講演・賞

●講演等

- 国立明石工業高等専門学校 2 年対象講演「アントレプレナーシップとイノベーション～求められる“自ら革新を起こし仕事を創造できる人材”～(2011/1/19)
- 創価大学経営学部生 対象「アントレプレナーシップ教育基礎講義」(2011/2/7)
- 摂南大学「PBL(Problem Based Learning)型プロジェクト」の指導教員向けセミナー(2011/2/23)
- 名古屋市「次世代産業振興に関わる調査事例報告会」(Nagoya Next Industry 第7回会議「人材育成」(2010/7/9))
- 追手門学院大学「社会起業家と市民事業」(2010/6/21)
- 平成 22 年度京都府「高校生新卒未就職者緊急支援事業」実践講座実施

●賞

- THE 10TH INTERNATIONAL EDUCATION BUSINESS PARTNERSHIP CONFERENCE 主催の 2010 GLOBAL BEST AWARDS に当センターのバーチャル・カンパニープログラムが Developing Skills of the Future Workforce 部門で特別賞を受賞しました。



- 理事長の原田が平成 22 年度「京都府あけぼの賞」を授与。授与式は 12 月 18 日(テルサ)で開催。



4. その他:支援校の取り組み

バーチャル・カンパニーの参加校が、どんどん地域の人たちとの連携を広げています！

◎前橋国際大学のバーチャル・カンパニー

2010 年度の前橋国際大学のバーチャル・カンパニー『上州米粉屋本舗』が(株)みまつ食品(前橋市)と共同開発した”水餃子”が販売されました。

前橋国際大学のバーチャル・カンパニーとして 2005 年から活動し、現在独立運営している『繭美蚕(まゆみさん)』が「ぷっちーずたると」を新発売。またその取り組みが社会人基礎力育成グランプリ関東地区予選大会で準優秀賞しました。

◎尾道市立原田中学校のバーチャル・カンパニー

2010 年のトレードフェアで京都府知事賞を受賞した尾道市立原田中学校が、朝日新聞社主催『第 12 回朝日のびのび教育賞』を受賞。2 月 16 日に贈呈式が開催され、地域に特別号外が配布されました。その後、広島県教

育委員会主催の教育賞 であるメイプル賞も受賞。地域を挙げてのお祝いとなりました。

◎愛知学院大学のバーチャル・カンパニー

2010 年度の愛知学院大学の『プロジェクトボックス』、『64ism』は、名古屋市新事業支援センターが主催する学生ビジネスアイデアコンテストで特別賞を受賞しました。

■□2010 年度プレスリリース-----

当センターが支援している学校の取組みが新聞で紹介されました。記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧下さい。<http://www.entreplanet.org/press/index.html>

- ・ 2011 年 3 月 1 日 産経新聞:京都ブランド役立ってます 老舗73%「商売に影響」 大商調査
- ・ 2011 年 3 月 1 日 朝日新聞:老舗の経営意識 地域差くっきり:京都「ブランド」「一致団結」大阪「事業拡大」 「収益確保」
- ・ 2011 年 3 月 1 日大阪日日新聞 :革新の大阪」「伝統の京都」 老舗企業調査
- ・ 2011 年 2 月 16 日 朝日新聞:道・原田中に「朝日のびのび教育賞」
- ・ 2011 年 1 月 16 日 中國新聞 尾道原田中 模擬会社 受賞に喜び
- ・ 2010 年 12 月 23 日京都新聞 :「障害の有無越え交流 下京でキャンドルナイト」
- ・ 2010 年 12 月 12 日中國新聞 :「尾道原田中 輝く社会貢献」
- ・ 2010 年 12 月 6 日京都新聞 :「美術作家やなぎさんら 京都府あけぼの賞、3人選出」
- ・ 2010 年 11 月 27 日毎日新聞 :『次世代の担い手を育てる-福祉施設で仕事体験-京都市立養正小学校』
- ・ 2010 年 11 月 23 日朝日新聞 :尾道・原田中が「京都府知事賞」に:地域との連携高評価-京都のフェアで賞
- ・ 2010 年 11 月 19 日朝日新聞 :みんなの和菓子完成! 京都・養正小5年生、京大で販売
- ・ 2010 年 11 月 19 日京都新聞 :「売れる」授産製品コラボ 同女大生と障害者施設
- ・ 2010 年 11 月 17 日京都新聞 :福祉の仕事学んでいます 加悦中 1 年生 2 ヶ月、感想を新聞に
- ・ 2010 年 11 月 16 日京都新聞 :起業家精神伝授へ 19 日から京大で経営者講演やパネル討論
- ・ 2010 年 11 月 13 日京都新聞 :福祉職員、講座通じ経営感覚磨く
- ・ 2010 年 10 月 24 日読売新聞 :学生、企業と洋菓子開発:前橋国際大学祭で販売
- ・ 2010 年 10 月 15 日京都新聞 :障害の有無超え光の交流 下京でキャンドルナイト 女大生企画
- ・ 2010 年 7 月 21 日城南新報 :福祉体験を今後に生かす 北宇治中 関係者招き発表会
- ・ 2010 年 7 月 21 日洛南タイムス :提案型の福祉体験、その成果は—北宇治中個室化ニーズ、人手難など指摘—
- ・ 2010 年 7 月 1 日京都新聞 :GEC2010 世界の若者が企画・発表力競う:日本チーム2位入賞
- ・ 2010 年 7 月 1 日京都新聞 :若者、実習通じて自信—府の職業訓練修了式
- ・ 2010 年 6 月 16 日洛南タイムス:北宇治中 提案型の福祉プログラム展開
- ・ 2010 年 6 月 8 日週刊教育 PRO(日本教育総合研究所発行) IPN の「次世代の担い手職業能力部門」京都のNPO法人に特別賞「バーチャル・カンパニー」教育プログラムで成果
- ・ 2010 年 5 月 28 日日刊工業新聞:アントレプレナーシップ GBA特別賞を受賞
- ・ 2010 年 5 月 21 日京都新聞 :京のNPO、日本の団体で初表彰 グローバルベストアワード特別賞
- ・ 2010 年 5 月 21 日読売新聞 :未来をデザイン、起業家教育に力を入れる
- ・ 2010 年 4 月 29 日京都新聞 :青少年の起業精神 世界発信